

ピース社とイー・プ合併

従業員メンタルヘルス 契約団体500に

従業員のメンタルヘルス対策などのEAP(従業員支援プログラム)を手がけるピースマインド(東京・中央、荻原国啓社長)とイー・プ(同・渋谷、松岡直美社長)は4日、4月1日付で合併すると発表し、新会社名を「ピースマインド・イー・プ」に決定した。合併に伴い契約団体は約500社、サービス対象人数は約85万人となり、EAP専業大手の一角に食い込む。新会社の社長にはピースマインドの荻原社長、イー・プの松岡社長が就く。株式の交換比率は公表していない。ピースマインドは法人

や個人を対象に年間2万件以上のカウンセリングを実施、全国で200人以上の心理専門職のネットワークを持つ。イー・プは米モトローラの社内EAPを基に日本企業向けにメンタルヘルスに関するコンサルティングサービスなどを提供してきた。新会社は全国約180

カ所の提携カウンセリングルームなどを活用し、全国規模でEAPサービスを提供。相互の国際事業を再編し、海外展開も強化する方針だ。